平成23年 年	頭	の	ٚ	あ	し	さ	0	
始	†対た た策、	、田被害 ア川河 田 初 策 と	施のて			長 豊 榮	間部では何百人ものが乗り入れられる道	何百人もの町民が不安な生活れられる道路が必要です。山
の町長	業板興、合	種 写 神 和 、 地 区	植一· 補貫 幼	6			が、町政を疎かに 国からの交付金	町政を疎かにすることはできませからの交付金は減額が続きます。
ţ	取り組みまり	・保険事業の充	(実などにも				どもの個人生活	どもの個人生活は家庭で責任を持ち合ん。国の経済政策のみに期待せず、私
新年明けましておめでとうございま	年間を計画期間とする。平成22年度から平成26	労間とする *い及から平成26年	の 町 第 2 次	す。新年明けま	しておめでとうござい	うございま	下水道の延伸	下水道つ画申:水道等つ村뢶と奪つ土い、山間部はもとより道路拡張整備や
	行政改革大纲	№並びに大綱	に基づく"い	皆様は決意	も新たにご家族お揃	灰お揃いで	会資本整備の	の公共工事が必要です。
こともに、皆様には、	たしました。	た。職員数の削減等、行政の政集中改革フラン* を策定い	(等、行政の	とお迎		い申し上げ	わが国は独立国家です。	
王般にわたり、ご理解・	スリム化、対	効率化という 点	での行政改	≟° t			よる領海侵犯と海保巡視船	こう国後島毎牛ぶ うり ミン海保巡視船への突進事
さて、乍手は高印県が、産業辰興のご協力を賜り厚くお礼申し上けます。	動や主民力の	っ舌用といった行政と町民の	観点も踏ま	事見直しでス	タートいたしま	は0. 至二	した。外交は	した。外交は内閣の責任です。内閣総件やロシアによる国後島事件かまりま
にも力を入れ、仁淀川	え、行政改革	早の継続推進、	効率的で柔	C	の町では南環	線の開	理大臣は国家の代表です。	責任
県と仁淀川流域市町	軟な行政組織	臧の構築、成果	の公表を基	や、高知西バ	イパスの是友ト	トンネルが	信を持ち、目領	と 主
况川流域観光推進協議	本方針のもと	こ、より一層の行	行財政改革	ーされ、	淀川	田 I Cと天		ぁれば、国民は安心して
二定 流域の地域資源を生かしたツ 会を11月に設立しました。協議会では	を推進してい	いきたいと考え	いる	神ICが目に目	見えてきました。	た。柳野地	日々に希望を持ち、	力
県外からの観光	今年は、陸	の災面でも拠点となる	本	区の33号は大	「耳区でトン	イル等の工	てきると思います。	
くす。	舎の改築につきまし	しても、	平成26年度	事も着工。山	回部基幹道路	の貫通・整	に 淀病院は4月1日	。ここ、
いましては、4月	中の完成に向	(快	会を立ち上	備も現実化し	ております。		診療が始まる	身が始まる予定です。また、県議会
→ mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm	げ、建設に向	同けて様々な角面	度から検討	新しい水道	水は、水質を該	水質を誇る仁淀川	議員の改選も声	1 - +
寮機器購入、サービス面の充	をしていく予	「定です。	/	沿いの鎌田地	区から耐震管を使って、	を使って、	も厳	す一年と覚悟して、
として射退の肩上を進めているとことです。	CE	るまちづくりを	しませし	その両兆へ手が、日常から、日常から、日常から、日常から、日常から、日常から、日常から、日本の一本の「日本」、日本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本	ト町	む所 /、村寝宮	くびとりが責任を分担して	合フトノムナルばよりませる分担して励まし合い
竹水源地から鎌田への新水源地	ね	よいりますので	理解と	に仅)替えら	ドイジネ	「「「」」の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の	オカ。そうす	これに
の移転につきましては、送・配水管の	ご協力をよる	っしくお願いし	0	ドされており	ノス	1 月 大 に 記	早り、	<u> </u>
浄も終了し、11月末に新水源地か	最	りましたが、皆		台山・台水	・台水を中で採木を開こ木巻	用に木巻り		り丁毛り皆兼が建まで多
罰、曷系也玄主民)皆兼こよ、三里産・ の供給を開始しています。これまでの	て、仏からり	ムからつ所戸つ矣寥 こさせてっ こご健康とご多幸を祈念いたしまし	させていと	おし	、緑豊かで心ふれあう な叫て柔木鏨値と林美の	こふれあう	な一年にな	幸な一年になりますよう祈念いたしま見いw7.いの覀目の昔林オ份属7%
たことを深く感謝	き			まちづくり	」には安心を担保せね	担保せねば	す。	
	一 平成23年元日	二 元日		なりません。	山間部の住宅へは救急車	へは救急車	平成23年元日	儿日